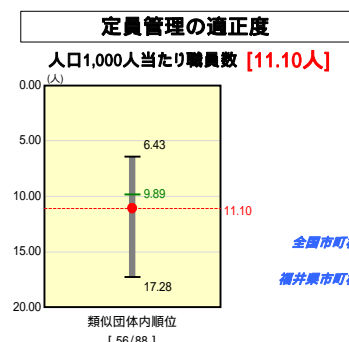
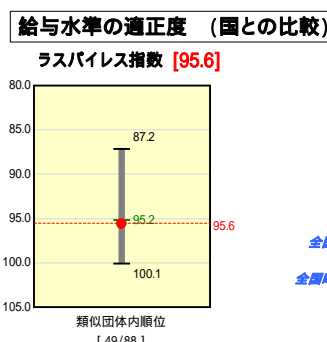
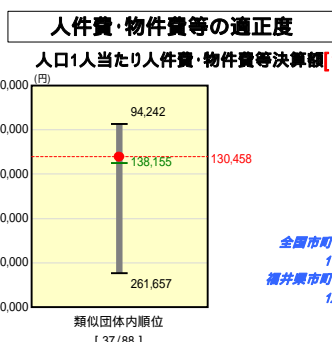
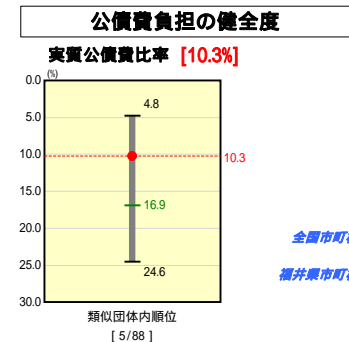
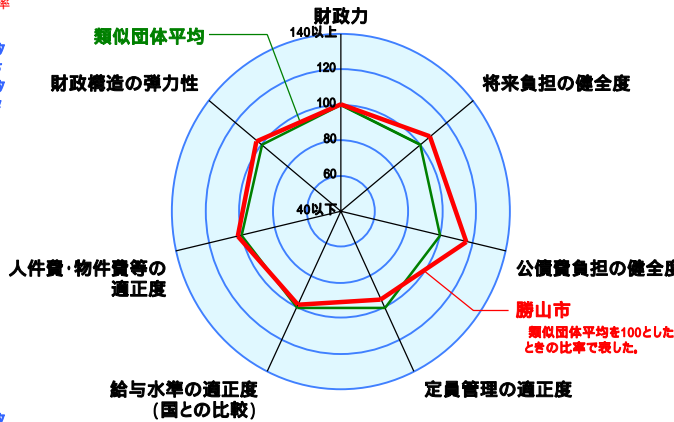
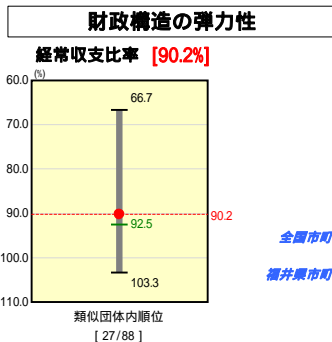
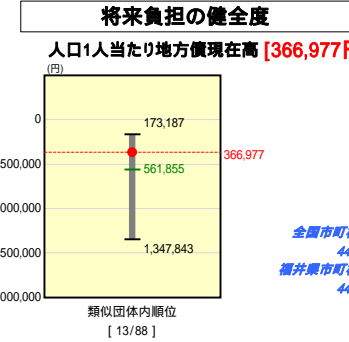
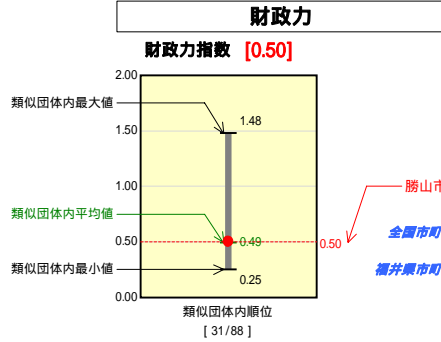


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 勝山市

人口	26,762	人(H20.3.31現在)
面積	253.68	km ²
歳入総額	11,477,254	千円
歳出総額	11,252,773	千円
実質収支	174,552	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

財政力指数
3ヶ年平均では、0.01ポイントの増となった。これは、3ヶ年平均の対象となる年度が全て税源移譲後の年度になったためであり、実質的な財政力の改善とは言えない。単年度で比較()すると法人税割などの大幅な減により0.04ポイントの減となっている。今後は、財政力の改善のため平成18年度に策定した滞納整理マニュアルに基づき、統一した滞納整理を行い歳入確保に努める。

経常収支比率
大野・勝山広域行政事務組合で ~ につけ借入れた廃棄物処理施設建設事業債の元金償還が順次開始され大幅な増額、除雪関係等で増額及び公債費においても増額となったが、経常人件費・物件費に充当することのできる特定財源が大幅に増額、償還ピークを過ぎている下水道事業特別会計への繰出金が大幅に減額となったため総額は前年度とほぼ同額となり0.1ポイントの微増に留まった。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費において、3ヶ年の選挙事務に係る人件費と早期勤労退職者に係る退職手当組合負担金が増額となったため、前年度と比較して97円の増額となったが、早期勤労退職者分については不補充としているため、今後人件費削減が見込まれる。

ラスパイレス指数
類似団体の平均とほぼ同率となっている。今後とも国に準じた適正な給与体系を維持していく。

人口1人当たり地方債現在高
近年、臨時財政対策債の借入れにより地方債残高は増加傾向にあったが、大型事業が少なかったため前年度に引き続き前年度を下回ることができた。今後は、人口減少等により人口1人当たり地方債残高は増えることが予想されるが、公債費負担の軽減を図るため、交付税措置のある地方債や低金利の地方債へシフトすることを基本方針とし、財政の健全化に努める。

実質公債費比率
下水道事業特別会計に対する単元利償還金が大幅に減額となったこと、普通交付税が滞る地方応援Pの創設等により大幅に増額となったため改善が見られた。しかし、今後は、大野・勝山広域行政事務組合で ~ につけ借入れた廃棄物処理施設建設事業債特別償還ピークと一般会計の償還ピークが2年に重なるため悪化が見込まれる。その為、 ~ 末には公的資金補償金免除繰上償還を行い、今後7年間で全会計で約316百万円の利払いの軽減を図った。

人口1人当たり職員数
類似団体の平均を上回っているが、平成16年度に策定した行政改革大綱ならびに平成17年度策定した集中改革プランに沿って、10ヶ年で職員数を52人、人件費総額を15%削減する。なお、当市では消防業務を共同処理せず、市単独で行っていることから、消防職員37人(1,000人当たり)136人が普通会計に計上されている。

なお、 からの人件費削減の実績は、 当初現在で職員数 35人、達成率67.3%、人件費総額 290百万円、達成率77.8%となっている。